



目指す児童像 ◇学び合う子 ◇思いやる子 ◇きたえる子

【緑小HP】

下野市立緑小学校 鈴木 寧子

～ 元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子 ～

<目指す児童像:きたえる子(生き抜く力の育成)を目指して ～みんなが笑顔～>
二中学区合同避難訓練・交通安全教室

新学期がスタートして1ヶ月が過ぎ、ご家庭の皆様のご協力のおかげで安全に登下校や学校生活を送ることができています。でも、万が一がいつ起こるかわかりません。学校では、「最悪を想定して準備をして、いざというときは最善を尽くす」という心構えで、ご家庭からお預かりしている大切な生命を守るという揺るぎない覚悟をもって、危機管理意識を高め、日々の教育活動を行っています。子供たちにも一番大切なのは、生命を守る行動だということを折に触れ伝えていきたいと考えています。

その一環として、4月17日(月)に二中学区合同避難訓練を、4月18日(火)に交通安全教室を実施しました。

避難訓練については、今回は避難経路と避難の心構えの確認を主たる目的として実施しました。また、第二中に兄妹がいらっしゃるご家庭については、いざというときの引き渡しについてご家庭で話題にさせていただく機会にしてもらえたらと考え、昨年度から引き続き二中学区同日開催としました。地域全体の意識高揚につながったと思っています。また、今後、より実効性の高い訓練となるよう、研修等で紹介された事例なども参考に見直しを図っていききたいと考えています。

交通安全教室については、1、2年生を対象に横断歩道の渡り方を確認することを目的に市の安心安全課の指導員の方々にご指導いただき実施しました。横断歩道では線に沿って横一列に並び、「手を上げて、右、左、右、横断」と左右を確認してから渡るという約束がちゃんと身に付いているようでした。「信号が点滅しているときは?」「渡りません!」「渡り終わったら?」「一列になります!」2回練習するうちにだんだん上手に渡れるようになってきました。信号のない横断歩道を渡り終わったら、くるっと振り返りピョンと会釈していた姿がとても微笑ましかったです。校庭に作った横断歩道でできたことが、実際の道路でいつでもどこでもできることが何より大切なことです。形だけそのときだけにならないよう、学校でも登下校時など折に触れ指導を続けてまいります。今後、他の学年でも学年に応じた内容で交通安全教室を実施する予定です。

さて、登下校の様子を見ていると、班長さんを中心に交通ルールを守って概ね安全に登校できているように感じます。特に、朝は2名の交通指導員さん、保護者の方々の旗当番さんや付き添い、地域の方々に見守られて安心して登校できていることに感謝いたします。今後も子供たちの安心安全のための見守りやお声かけにご協力いただきますよう、どうぞよろしく願います。学校でも、みんなの安全は多くの人ののおかげで守られているんだよということを折に触れ伝えていきたいと思ひます。

<目指す児童像:学び合う子(確かな学力の育成)を目指して ～輝くひとみ～>
全国・とちぎっ子学力学習状況調査の実施

4月18日(火)に、6年生が国が実施する「全国学力・学習状況調査(国語・算数・質問紙)」を、4年生と5年生が県が実施する「とちぎっ子学習状況調査(国語・算数・理科・質問紙)」を受けました。これらの調査は、児童の学力や学習の状況を把握して、結果を分析することで、日頃の児童への教科等指導や学習状況の改善に役立てて、児童の学力の向上につなげることを目的としています。9月には調査結果が返ってくる予定です。一人一人に詳細な結果が返却されます。学校では、学校全体及び個人の結果を踏まえ、これまでの成果と課題を分析して今後の授業改善や学習指導に役立てていきたいと考えています。栃木県教育委員会作成の「家庭でできる学力アッププロジェクト」リーフレットを右記のQRコードでご紹介します。ぜひお時間があるときにご一読いただくと幸いです。

2年生烏が森に春探し・3年生学区内探検の実施

4月21日(金)に生活科の授業で2年生が、4月28日(金)と5月2日(火)に社会科の授業で3年生が校外での学習を実施しました。

2年生は烏が森公園まで歩いて行って春探しをしました。一匹の蟻を見つけてついて行ったら、たくさんの蟻の巣にたどりついたり、石をめくったらダンゴムシが出てきたり、タンポポが綿毛になって風に吹かれて飛んでいく姿に笑顔になったり、みんなそれぞれに春を見つけました。お天気にも恵まれポカポカ陽気の中、元気に行ってきました。帰りは少し遠回りして川の様子を観察しました。すれ違う地域の方たちにも元気に気持ちの良いあいさつができました。



3年生は2日間に渡って学区内を探検してきました。



「今どこ？」と常に地図で確認し、「住宅が多いから公園があるのかな」とか「道の大きさが違うのはどうしてなんだろう」など、見慣れた場所や通りで新しい発見もあったようです。学校に戻って班ごとに大きな白地図にわかったことを書き込んでまとめました。



<目指す児童像:思いやる子(豊かな心の育成)を目指して ~みんなが笑顔 輝くひとみ~ >
5年生種まきを実施

4月26日(水)に学校支援ボランティアの楡木様のご指導いただき、5年生が総合的な学習の時間「お米ができるまで」を学ぶために、種まきをしました。この後も楡木さんが講師として田植えから稲刈りまで支援して下さいます。初めて触る種に「これがいつも食べているお米になるんだ！」とびっくり。土をまっすぐに敷いて苗床を作り、その上にバランス良く丁寧に種をまき、その上のまたまた土をかぶせて上手にできました。楡木さんに褒めていただき、みんなにこにこ笑顔でした。



心温まる1年生を迎える会

5月12日(金)に1年生を迎える会を実施しました。代表委員のみなさんが知恵を出し合い計画して、本番に向けて限られた時間の中で準備や練習を進めてくれました。きっとどうしたら1年生に喜んでもらえるかな、1年生に安心して緑小の生活を楽しんでもらうためには何をしようかなと1年生の喜ぶ笑顔想像しながら一生懸命に考えてくれたことと思います。やらなくてはならないことがたくさんあって大変なはずなのに、準備をしている6年生のみなさんの顔はにこにこ笑顔で頼もしくとてもかっこよかったです。



当日は、入学式とは違って全校児童が見守る中、花のアーチをくぐって6年生と一緒に入場する1年生の姿がとっても嬉しそうでした。初めてのなかよし班で少し恥ずかしそうに自己紹介をする1年生。そんな1年生の様子を温かく優しく見守る2年生から6年生のお兄さんお姉さん。お話をしている間にみんなが仲良くなって、だんだんきらきら笑顔が輝いていました。体育館全体が優しい空気に包まれて、とても温かい時間を過ごすことができました。企画運営を責任をもってやり遂げて、みんなが笑顔になるお手伝いをしてくれた6年生や代表委員のみなさんに感謝です。

<地域とともにある学校を目指して ~元気なあいさつ みんなが笑顔~ >
学校運営協議会スタート

学校運営協議会が本格的にスタートし、6年目を迎えました。この制度は、「地域に信頼され地域とともにある学校」を目指していくためにあります。今年度も、学校と保護者と地域がつながり子供たちの笑顔を守るために協働していけたらと考えています。



第1回学校運営協議会を、4月26日(水)に開催しました。8名の委員のみなさんに教育委員会からの委任状をお渡しし、会長副会長さんを互選いただいて、いよいよ始動です。

まず始めに今年度の学校経営の方針と努力点について説明をしました。その後、各委員の皆さんから感想やご意見をいただき協議をしました。その中で、多く話題にあがったことが、危機管理とあいさつについてです。学校としての取組や今後の方針をお伝えし、委員のみなさんからも前向きなご意見を多数いただきました。いただいた主なご意見をご紹介します。

- ・ 児童が登校した後は、昇降口は施錠した方がいいのではないか。(今後検討します。)
- ・ 有事の際に誰もが自分の判断で適切に行動できるように、折に触れ危機管理マニュアルの読み合わせなどをするとよいのではないか。(今後も全職員で意識を高めてまいります。)
- ・ あいさつはどの学校でも課題になっている。まずは大人から実践するとよい。
- ・ あいさつができた子がしてよかったと思えるような応答を大人ができるといいのではないか。例えば、「朝から気持ちのいいあいさつができて偉いね。」とか「元気なあいさつしてくれてありがとう。」などの声かけを自分たちからやってみよう。
- ・ 学校が実施するあいさつ運動について、保護者や地域にもお知らせして、協力を呼びかけてみてはどうか。(お子様を通じてお知らせいたします。ご協力いただきますとありがたいです。)

充実した協議を経て、全委員一致により学校経営基本方針は承認されました。ぜひ緑小学校の教育活動の充実と子供たちの成長のために今後も知恵を出し合えたらと思います。

<学校運営協議会委員> ※敬称略

会長: 金清 隆純 副会長: 田村 伸子
 委員: 中村 節子 山中 英雄 小嶋 英史 林 宏一 金子 友紀 高橋 亜矢 鈴木 寧子(校長)
 井上 啓太(地域連携教員) 事務局: 石田 洋江(教頭) 鯉淵 礼子(教務主任)

地域学校協働活動推進員: 上野 保久

<今後の開催予定日>

6月16日(金)授業参観及び協議 2月7日(水)年度の振り返りとまとめ

9月28日(木)二中学区学校運営協議会

※緑小PTAと学校運営協議会(代表が参加)とを結ぶ「学校連携交流会」も年2回実施する予定です。